

交換留学報告書

* この報告書に記載される内容は多文化社会学部のウェブサイトに記載いたしますので、予めご了承ください。

氏名	大森 あかり	学年(渡航時)	3 年
派遣先大学	カ・フォスカリ大学		
国・地域	イタリア		
派遣期間	2024	年 2 月 ~	2025 年 1 月

履修科目

1 学期目	
履修科目	授業内容
Venetian art and archaeology-2: venetian Heritage in the Adriatic and in the Mediterranean	ベネチアに関連する芸術作品や建築作品の歴史や背景、ベネチアのアドリア海や地中海との交流について
Aesthetics	美学を哲学の観点から見る授業(大学院生の授業、哲学についての基礎知識があることが履修要件)
2 学期目	
履修科目	授業内容
Restoration	絵画の修復方法について
Italian language for exchange students - A: Communication and culture	イタリア語と、イタリアの文化やコミュニケーションについて
History of design of glass in Venice	ベネチアングラスのデザインや歴史について
Venetian art and archaeology -1: From the origins of Venice to the Biennale	ビエンナーレの歴史や取り上げられた作品について

留学レポート(1,500 字以上)

この 1 年間は私にとってかけがえのないものになりました。小さい頃からヨーロッパの美しい街並みに憧れていて、そこに住んで生活するのが夢でした。特にイタリアは、自分が興味のある芸術・ファッション・建築などの文化で有名な国であり、その明るい国民性にも惹かれていて 1 番好きな国だったので、留学先に選びました。

カ・フォスカリ大学の授業では、長崎大学では学べないことで、自分が興味を持っているものを意識して履修しました。そのため、イタリアやベネチアについての授業や、芸術についての授業を取りました。多文化社会学部には芸術について学べる講義がなく、教育学部の授業を取ったことはあったのですが、授業数の関係などもあり、カ・フォスカリ大学の授業ほど専門的な内容ではなかったので興味深かったです。特に、Restoration の授業では、絵画の修復方法や風化のヒビの入りの違いから作成された国がわかることなど、今まで知らなかったことを学べて良かったです。他の授業では、美術の歴史や作品や技法の流れを見ていくことで、自然とベネチアやイタリアの歴史について学べました。また、ベネチアはガラス産業が有名なのですが、その歴史やデザイン、作者についてなどの授業はここでしか取れないものだったので、興味深かったです。イタリア語の授業は、イタリア語を学ぶクラスとイタリアの文化とコミュニケーションについて学ぶクラスの 2 つを受けて、単位を所得する形でした。私はイタリア語を全く勉強せずに行ったので、英語で授業を受けることもあり、着いていくのが大変でしたが無事に単位を所得できて良かったです。元々は、政治学や哲学、文学の授業も取ることを考えていたのですが、そもそもの授業数が少なかったことや、授業を受ける際に前提条件(政治の授業を何単位取っていること、や、西洋の文学に精通していること、など)があったため、履修登録することが難しかったです。さらに、カ・フォスカリ大学に日本語を学んでいる学科があったので、そのクラスの自由会話に参加するのも良かったです。そこでも日本と比較する形でイタリアの文化に触れることができました。

生活面では、ベネチアの街の幻想的な風景や、船で移動したことが印象に残っています。また、ごはんを食べる時は、美味しくて安いお店を探していたので常連になって店主が顔を覚えてくれた店もありました。お店に行くと、イタリア人の明るさや優しさに触れることが多かったです。イタリアは英語が通じる人が多くはないのですが、英語が分からなくても頑張って私の言いたいことを理解しようとしてくれたり、気さくに話しかけてくれたり、日本人と分かったら知っている日本語を沢山話してくれたりしてくれて、楽しい思い出が多いです。また、イタリア人は食にこだわりが強い人が多く、ピザをナイフとフォークで食べたり、コーヒーの種類によって飲む時間帯が異なったりなど、食文化についても学べて良かったです。ピザも日本にはない本場のトッピングや種類があって面白かったです。

自主的に取り組んだものとしては、ミラノファッションウィークのボランティアに行きました。日本人のデザイナーさんの通訳として参加しましたが、興味があったファッション業界に関わることができた有意義な経験でした。ファッションショーの裏側を見られたこと、しかもそれが世界的に有名なミラノファッションウィークだったことは忘れられません。ファッションについての授業はなかったので、このボランティア活動を通して現地のファッション文化に関わることができて良かったです。

留学を通して、もちろんアジア人差別をされることや嫌なことも沢山ありました。でもそれ以上に楽しい思い出や良い人との出会いがありました。多くの新しいことを学びながら、挑戦する機会があったことで成長できました。今まで憧れが強すぎて幻想を抱いていたイタリアやヨーロッパの良いところと悪いところが見えた一方で、日本の良いところと悪いところも見えて、自分の将来を考える良い機会にもなりました。

留学中の写真(5枚程度) ※写真のキャプションも入れること



街の中を通るゴンドラ



美味しくて安いジェラート



バスでベネチアに向かう時の窓からの景色



バスでベネチアに向かう時の窓からの景色



レガータ・ストーリカというお祭りの写真。中世の衣装を着ている行列。